

准教授 岡崎 勘造

キーワード

応用健康科学, ICT, 活動量, 健康教育, 子ども

産学連携に関するシーズ（研究・教育・商品開発など）

活発な子どもを育むために

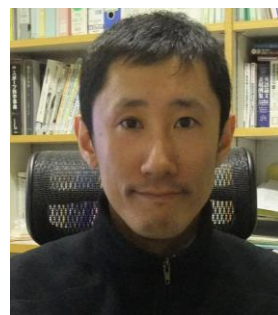
現在、子どもの体力の二極化が問題視されており、昔に比べて、子どもの体力が低下していることが危惧されています。これら問題の一要因として、現代っ子は、日頃動かなくなったことが考えられています。

では現代っ子の活動状況はどれくらいなのか、子どもの活動状況について、定量化することが私の研究テーマの一つとなります。特に最近では、今までの歩数だけではなく、活動の強度にも注意して、定量化する必要があります。つまり、一歩でも、強度が異なります。

もう一つのテーマは、活発な子どもを育むための方法の開発です。子どもに対するミクロなアプローチ（健康教育）に加えて、マクロなアプローチ（親・教師へのサポート、街づくりとの関連など）にも着目しております。

研究成果の応用例、活用分野、企業等への提案事例

将来活用できる応用例について、まずは教育現場に役立つと考えております。現在、被災地女川の子どもの活動量を定量化しており、その状況を現場の先生型にフィードバックし、健康教育に応用しております（写真上）。二つ目は、福祉の街づくりへの応用を目指します。世界保健機関では、ヘルスプロモーションとして、環境づくりを強調するようになりました。写真下は、ICTによる運動習慣環境づくりの機器になります。活動しやすい環境を研究することで、子どもだけでなく、地域住民の健康を考える福祉の町づくりに役立つと考えます。



連絡先

E-mail : kokazaki@mail.tohoku-gakuin.ac.jp TEL: 022-354-8647